

●○ 研修会特集 公開講座 ○●

実践！図書室ホームページの作成

奥出 麻里

I. はじめに

今では、日常の図書館業務にインターネットが欠かせない存在になり、ほとんどの方がメール、ホームページを当たり前のように使っています。けれど実際にホームページを作っている方は、まだまだそれほど多くはないようです。ぜひ、そのきっかけをつかんでいただければと思います。

II. なぜホームページを作るのか

ホームページをなぜ作るのかというと、まず、楽しいからだと思います。インターネットには、ものすごいパワーがあるからです。

何かを人に伝える方法はいろいろありますが、簡単に、コストも安く、そして多くの人々に一瞬にして伝えられるというインターネットは、今までのメディアとはちょっと違います。手作り感覚で、昔の小学校時代の学級新聞を作る感覚でホームページを作れますし、それを全世界の人に伝えられる、ということです¹⁾。

そして、インターネットのもう一つの特徴は、インタラクティブ、双方向性ということです。新しいネットワークができていろいろな人とめぐり会い話し合うこと、それもまた楽しいことですし、メリットといえます。

図書室のホームページを作ることは、利用者へのサービスはもちろんのこと、図書室や私た

ち図書館員自身のことをアピールすることもできます。

まずは、簡単なテキストと絵の入ったホームページを作りましょう。

III. ホームページ作成の準備

必要なものとしては、パソコン、サーバースペース、デジタルカメラかスキャナ、ホームページ作成ソフトなどです。

サーバーは通常、有料のプロパイダのサービスか無料のサービスを使います。無料のサービスも近頃は表1のようにいろいろなサイトがありますので、アクセスしてみてください。ホームページの作り方の説明やカウンタなどのツールもあり、手軽に作ることができます。しかし無料の場合は、広告バナーが付きます(表1)。

表1 おもな無料サービスのサイト

サイト名	容量制限	URL
Yahoo! GeoCities	12MB	http://www.geocities.co.jp/
Globe Town	50MB	http://www.globetown.net/
HOOPS!	50MB	http://www.hoops.ne.jp/
Infoseek isweb	50MB	http://isweb.infoseek.co.jp/
トクトク	無制限	http://tok2.com/

デジタルカメラやスキャナは画像製作用です。写真やイラストなどをぜひ入れてみてください。

ホームページ作成ソフトは、ホームページビルダー(日本IBM)、Dreamweaver(マクロメディア)などがありますが、どうしても必要ということではありません。なくても、HTMLソースというものを自分で書けばいいわけで、ワープロや、エディタがあればできます。ただ、ソフトがあると簡単に作ることができます。ソ

OKUDE Mari

川鉄千葉病院図書室

satou@aqu.bekkoame.ne.jp

フトがあっても HTML の簡単なタグは知っていた方が何かと便利です。私自身は、長い間 HTML ソースをエディタで書いていましたが、最近ではソフトも利用するようになりました。更新の場合はほとんど、HTML ソースを直接修正追加しています。

IV. ファイル構成-川鉄千葉病院図書館のホームページを例に

ホームページで大切なことは、コンテンツです。それはホームページに限らないことで、何か人に伝えたいときは、その何かをわかりやすくどのように伝えたいか考えることが必要です。

どんなホームページが作りたいのか、考えてみましょう。テーマを決めて、リストアップし、全体の構成を考えます。そして、それがファイル構成になっていきます。

図1は、川鉄千葉病院図書館のホームページです。このホームページは大学図書館のホームページのように OPAC などの検索機能はありませんし、特別良いということではありません。ただとてもシンプルなので、ホームページを初めて作るとしたら参考にはなるのではと思っています。

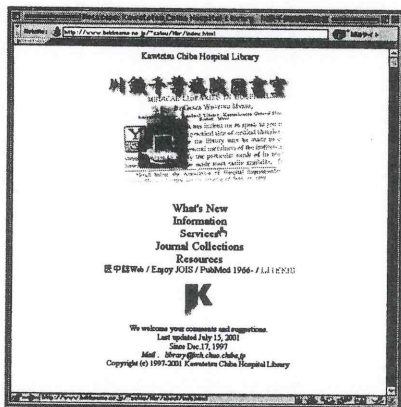


図1 川鉄千葉病院図書館のホームページ

<http://www.bekkoame.ne.jp/~satou/lib/>

川鉄千葉病院図書館のホームページは簡単なファイル構成になっていますので、例としてあ

げます(表2)。

表2 ファイル構成の例

Home	フロントページ	index.html
What's New	更新情報	new.html
Information	利用案内	about
		info.html
		nmc.html NLM 分類表
Services	図書館サービス	layout.html 図書館レイアウト
Journal Collections	雑誌リスト	serv.html
		journals
		index.html
		journals.html 国内雑誌リスト
Resources	情報源	journals.html 外国雑誌リスト
		resources
		index.html
		database.html 二次資料データベース
		select.html リンク

フロントページのファイル名は通常、index.html または index.htm にします。

どんな病院図書館のホームページがあるかは、サーチエンジンで検索すれば出てきます。また、アメリカの Medical Library Association (MLA) のサイト内にある、"Hospital Libraries Section (<http://www.hls.mlanet.org/>)" の中では、ホームページ作成のための情報とともに、大小さまざまな病院図書館のホームページにリンクしているので参考になります²⁾。

素敵でクールなホームページを作るには、構成の他に、デザイン、レイアウトに統一を持たせることが必要です。つまり、字のサイズや色、フォント、背景色や柄を考えましょう。また、あまり大きな画像を入れないこと、不必要にフレームを用いない方がいいでしょう。

V. HTML タグって何?

さて先ほどから、HTML の話が出てきています。この HTML タグとは何でしょう。ホームページ、WWW の「言語」です。ブラウザからソースを見てみましょう。Netscape でしたら「表示」から「ページのソース」、Internet Explorer では「表示」から「ソース」を開きます。大文字でも小文字でも同じです。タグはすべて半角にします。例えば、

<html> . . . </html>

これは html 文書です、という意味です。必ず付けましょう。

```
<head>・・・</head>
```

ヘッダ情報を入れます。必ず必要です。

```
<title>・・・</title>
```

<head>・・・</head>の中であって、タイトルとして、ブラウザ上部に表示されます。

```
<body>・・・</body>
```

本文を表示させるために必要なタグです。

ここでは紙面の都合上、細かい説明は省きます。たくさんのタグがありますので、タグ事典の類が一冊手元にあると便利です。

VI. 画像ファイルの作成

画像ファイルは通常、gif (ジフ) 画像、あるいは jpeg (ジェイペグ) 画像にします。どちらも圧縮されている画像形式です。例えば、aaa.gif、bbb.jpg のようなファイル名にします。写真などのように多くの色を使っているものは、フルカラー対応の jpeg 画像にし、イラストなどは、256 色の gif 画像にします。こちらは単純なイメージに使います。アニメーションも gif 画像です。ブラウザの背景色をそのままイメージの背景色にできる形式は、透明 gif です。

画像作成には、Adobe Photoshop や Jasc Paint Shop Pro などの画像ソフトを使います。また、ホームページのサーチエンジンなどで、フリー画像を集めているサイトから、簡単にダウンロードして使うことができます。

VII. リンクでつなぎ、ブラウザでチェック

リンクのしかたです。例えば、PubMed にリンクする場合、

```
<a href="http://www.ncbi.nlm.nih.gov/PubMed/">PubMed</a>のようにします。また、同じサイト内の search.html というファイルにリンクする場合は、
```

```
<a href="search.html">文献を探す</a>のようにします。
```

ブラウザで確かめるというのは、ブラウザで

index.html を開いて、思ったとおりに表示されているか、リンクできるかを確かめるということです。ブラウザの種類 (例えば Netscape や Internet Explorer など) やそのバージョンによって、表示のされ方が変わってきます。文字のフォントや色、サイズなどが違って見えることがあります。したがって、複数のブラウザで確かめた方がいいでしょう。

VIII. いよいよ転送

転送のための設定は、それぞれの環境によって違うので省略します。そして、いよいよ転送です。転送は、ホームページ作成ソフトから直接できます。私の場合は Macintosh ですが、Fetch (http://fetch.jp/) というソフトを使って転送しています。転送がすんだら実際にアクセスして確かめてください。

これで完成です。けれど一度できあがったらおしまい、という訳にはいきません。ホームページで大切なのが常に更新するということです。いつも新しい興味深い情報を心がけて、どんどん膨らませていってください。

IX. おわりにかえて-リテリス紹介

さいごに、2001 年 7 月 1 日公開した、LITERIS (リテリス: 図書館員によるウェブ医学医療情報リソース選集) というホームページを紹介しましょう。

これは「病院図書館」という枠にこだわらない、図書館員の幅広い協力活動として、有志によって開設したホームページです。図 2 がフロントページです。そしてこのサイトが図書館員の日常業務や情報交換のためだけでなく、広く医療従事者、そして一般の方々にも利用してもらえるようなサイトを目指すことにしました³⁾。ぜひ、ご利用ください。

多くの図書館員の方々がホームページを作ることで、その楽しさをもっと実感していただけたらと思っています。そして図書室のサービスに役立てるだけでなく、利用者自身がいろいろ

に役立てるだけでなく、利用者自身がいろいろな方法で情報発信するための支援を、私たちができるようになればと願っています。

また、新しさが命のホームページですが、反対に歴史的観点からも貴重な情報を継続的に蓄積していけたら、それは人類共通の財産となることでしょう。

(URLは、2001年8月23日現在です)

引用文献

- 1) 奥出麻里：ホームページ作成ガイド。薬学図書館 1997;42(4):407-413.
- 2) 小田中徹也：アメリカの病院図書館ウェブページにみる図書館サービス。病院図書館 2001;21(1):6-10.
- 3) 奥出麻里：LITERIS公開。ほすぴたるらいぶらりあん 2001;26(3) (印刷中)

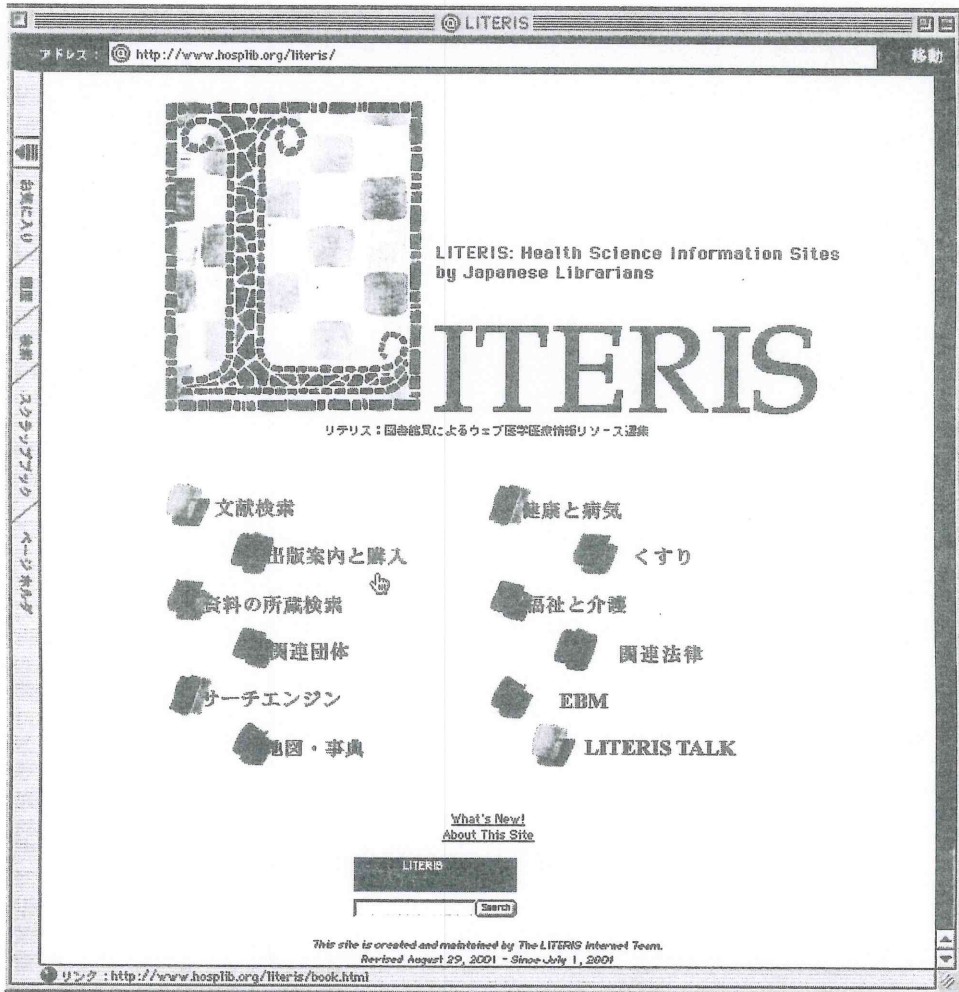


図2 LITERIS ホームページ <http://www.hosplib.org/literis/>